

# 埼臨技だより

発行所 埼臨技 埼玉県臨床検査技師会

〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7 TEL 048(824)4077 FAX 048(824)4095

URL:<http://www.sairingi.com/> 携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

## 平成25年度 学術関連合同会議開催される

平成25年5月11日(土) 15時より、埼玉会館会議室において「平成25年度学術関連合同会議」が開催された。この会議は理事、研究班員、委員会等の改選に伴って開催され、研究班活動が円滑に運営出来るように役務の確認や引き継ぎを行っている。この日は砂川会長を始めとする理事・監事、研究班員(班長、会計担当、生涯教育担当、ホームページ担当)、関連各種委員会の総勢68名の出席があり協議が行われた。

砂川会長の開会挨拶に始まり、神山副会長からは研究班運営についての説明があった。筆者からは過去2年間の研修会集計報告(図1、2)、研修会開催に関する確認と説明を行なった。また、研修会開催のみならず、学会発表や論文投稿などの学術的業績を残せるような活発な研究活動、総会や賀詞交歓会など技師会行事への積極的な参加について研究班への激励として話があった。続いて各研究班班長からの運営に関する質問、要望が出され執行部による回答と協議が行われた。

その他、第42回埼玉県医学検査学会 坂場学会長から学会の企画内容が説明され、各研究班へセミナーへの協力、実務員の要請について依頼があった。また、津田副会長からは日臨技総会の案内と日臨技定時総会議決権行使書(兼出席票)提出について説明があった。



全体会議後には、各委員会に分かれて担当者ごとの会議が行われた。研究班運営委員会では茂木委員長を中心として各班長とで研究班マニュアルの確認が行われた。生涯教育委員会では小山委員長のもと生涯教育登録作業等について確認が行われた。会計部では島村部長を中心に会計マニュアルの確認、適切な会計処理について説明があった。

	微生物	臨床化学	一般検査	生理	公衆衛生	血清	輸血	病理	細胞	血液	検査室運営	地区別	合同	合計
平成23年度	74	52	63	53	35	32	53	63	35	60	54	35	54	609
平成24年度	68	70	62	57	27	32	57	33	33	54	41	44	66	578

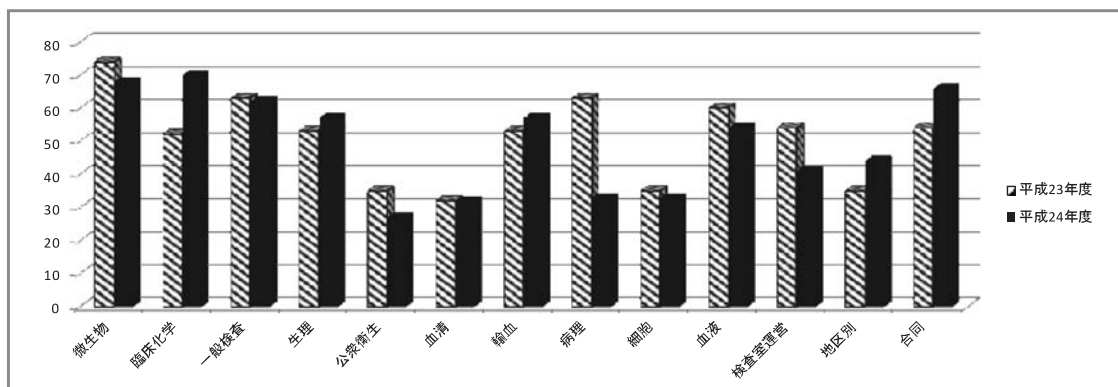


図1 23年度、24年度研究班別研修会平均参加者数

	微生物	臨床化学	一般検査	生理	公衆衛生	血清	輸血	病理	細胞	血液	検査室運営	地区別	合同	合計
平成23年度	6	5	7	10	4	7	7	5	4	6	2	3	9	66
(合同)	2	3	2	1	2	1	1	1	1	1				
平成24年度	6	7	7	9	3	9	10	4	5	8	2	3	6	73
(合同)	3	1	2		3				1					

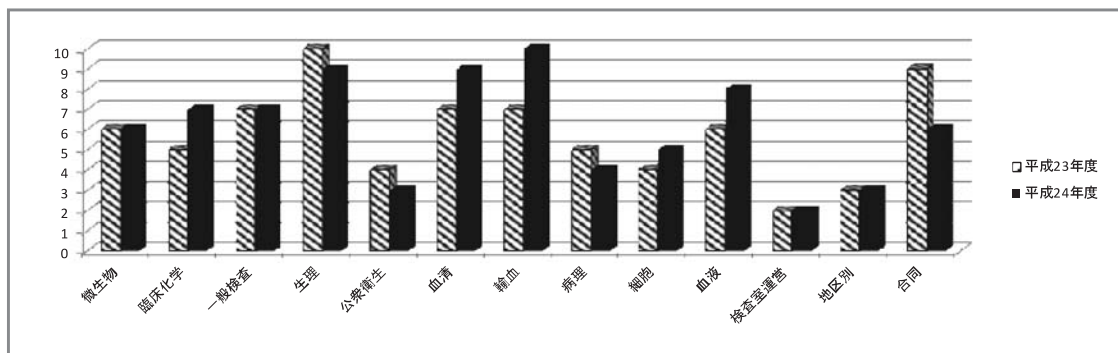


図2 23年度、24年度研究班別研修会開催数

精度管理委員会では神山委員長を中心に今年度の精度管理事業についての概要及び業務計画の説明があった。ホームページ委員会では矢作委員長のもとホームページの適切な運用法と積極的な活用について説明があった。編集委員会では筆者を中心に会誌発行についての手順、投稿の募集、新企画などについて検討を行った。

最後に各研究班の学術活動、精度管理事業は技師会運営の要でもあり、今後も理事、研究班、各種委員会一丸となって会員のニーズにあった企画、運営を行う予定である。会員のスキルアップが医療の発展、広くは県民の衛生思想の普及に寄与している。会員の皆様、関係者各位の更なるご指導・ご協力をお願いする。

(文責：小関紀之)



## 福見秀雄賞を受賞して

元日本臨床衛生検査技師会会長 小崎繁昭

去る、5月17日東京会館において公益財団法人黒住医学研究振興財団による第48回小島三郎記念技術賞・第32回福見秀雄賞贈呈式典が執り行われました。

私は、第32回福見秀雄賞受賞候補者として埼玉県臨床検査技師会から推薦をいただき、今回受賞の栄に浴しました。本賞は、これまで本県歴代会長経験者や役員経験者が受賞し、臨床検査技師にとって名誉ある賞として広く関係団体から認められています。今回受賞者の一人として仲間に入れてもらえるのはこの上ない喜びであり、埼玉県臨床検査技師会に心から感謝申し上げます。

福見秀雄賞の選考基準は、臨床検査、衛生検査領域において半生を捧げ、検査方法、術式の考案改良や後輩の指導育成に貢献のあった者が対象になりますが、私の貢献は、臨床検査技師になって50年が経過し、半生をささげた以外には選考基準に該当する項目はありませんでした。これまで長い間埼玉県技師会役員と、日臨技役員として組織活動と臨床検査にかかわる諸問題に微力ながらお手伝いできたことかと思っております。

幸い職場の仲間理解をいただき、支援と協力をいただきながら「臨床検査技師等に関する法律」改正にこぎつけたことが記憶に残っています。この法律改正では、臨床検査技師の資質向上から衛生検査技師制度の廃止について賛同を得られたが、長年の懸案である検体検査の業務制限や生理学的検査の業務拡大まで踏み込むことができなかつたことが今でも心残りであります。

近年、臨床検査技師の教育年限が4年生の大学まで進む優秀な技師を育成する教育施設も多くなってきているので、次代を担う若い検査技師に、積み残した諸問題の解決をゆだねたいと思っております。

結びに、この度の受賞の栄に浴しましたのは、これまで長年にわたりご指導いただいた諸先輩、ご協力、ご支援いただいた埼臨技技師会関係者の支援の賜であり、紙面をお借りし謹んでお礼申し上げますとともに今後も倍増のご指導、ご助言をお願い申し上げます。

### 回 小島三郎記念技術賞・第32回 福見秀雄賞 贈







技師に講演していただいた。いくつかの検討の項目について、たとえば再現性では試料濃度の設定、測定、解釈など実例を挙げながら分かりやすく説明していただき、まだ検討を経験したことのない方も、また長年の慣習から、何の疑問もなく決まっている事として漠然と検討を実施していた方にとっても色々気付かされた点などがあって参考になる講義であった。

#### 講演2：「やってみよう！初めての検討実際編～カルシウム測定試薬3社の基礎的検討～」

自施設でのカルシウム検査試薬の導入時に経験した検討の具体的な内容について安田技師に講演していただいた。3社の試薬の原理の比較、検討方法とその解釈、Excelの活用方法などの実践的な内容であった。学会発表でのスライドを作成する際、また論文でのデータを提示する際に実際にはどのようなことを行っているのかを知ることが出来たと思われた。

今回の内容は、日常検査にただちに活かせる事ではないが、機器や試薬の導入に際しての検討は検査技師の業務としては大変重要な業務でもあり、自分が検討をしない場合でも別の人の行った検討を客観的に評価する事により、機器や試薬を理解することが出来、日常の検査を行う上で、大切な事であると改めて考えさせられた。

(文責：三木隆治)

## テーマ 第21回 脂質ミニサーベイ講習会

主催 臨床化学検査研究班

実施日時：平成25年2月20日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ 905号室 点数：専門教科ー20点

講師：柴田 真明（上尾中央総合病院）

茂木 孝一（深谷市大里郡医師会メヂカルセンター）

巖崎 達矢（東松山医師会病院）

柳 友美子（川口市立医療センター）

安田 達明（株式会社 アムル 上尾中央臨床検査研究所）

参加人数：会員51名

出席した研究班班員：三木隆治 茂木孝一 小山博史 柳友美子 巖崎達矢 柴田真明  
永井謙一 安田達明

研修内容・感想など

今年で21回目となった脂質ミニサーベイは、リポ蛋白の変性などにより汎用管理試料では評価が難しい脂質項目（TC、TG、HDL-C、LDL-C）について、ヒト由来の出来るだけ新鮮な血清を用いて評価する事を目的としている。参加施設は昨年同様41施設（メーカー4社含む）であった。試料は、各項目の低濃度域、中濃度域、高濃度域をターゲットとした冷蔵プール血清7試料で、今年は測定日の違いによるリポ蛋白の変性を考慮し、測定日を試料到着2日以内と設定した。また、参考調査として中濃度試料でカルシウムを測定してもらい、測定原理やメーカーによる差についても調査を行なった。

集計結果では全脂質項目ではほぼ昨年と同様の分布を示し、全体的に収束していたと思われる。TCにおいて前回高めの傾向を示した施設が今回も高めの傾向であったため、系統誤差が見られた。また、HDL-Cは保存日数が経過するごとに測定値の低下が認められた。サーベイ試料は発送するまでに数日経過しているため、ルーチン検体ではさらにこの傾向が顕著な可能性もあり、保存日数が経過した検体の追加検査には注意が必要だと感じた。許容限界を外れた施設は再現性や正確性の確認を行なって頂き、日々の精度管理に役立てて頂きたい。最後に参考調査のカルシウムでは、N数が少ないながらも測定原理の違いによる若干のメーカー間差が認められた。また、各施設で使用しているカルシウム標準液を記載していただいたが、1施設だけ試薬のメーカーと標準液のメーカーが違っていた。バイアスやCmに問題はなかったが、現在ほとんどの試薬メーカーではデータ不良時の原因究明の観点からも、標準液と試薬は同一メーカーのものを推奨している。書き損じの可能性もあるため施設の標準液について見直しをお願いしたい。

(文責：安田達明)

テーマ **癌胎児性抗原(CEA)研究の過去現在**  
～ CEAファミリーについて理解しましょう ～

主催 血清検査研究班

実施日時：平成25年2月28日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 905号室 点数：専門教科－20点

講 師：飯沼 一茂氏（アボットジャパン株式会社）

参加人数：会員21名 賛助会員3名

出席した研究班班員：齊藤雅一 庄司和春 鎌田泰至 佐野悦子 立塚梓 大島まり子  
相坂由里子

研修内容・感想など

数ある腫瘍マーカーの中でも代表格といえるCEA。今回はCEA研究の過去・現在と題しCEAの発見から構造、近年の測定意義などについてアボットジャパン株式会社の飯沼一茂氏に講演していただいた。

1965年の発見以降研究は進み、CEAが遺伝子レベルで詳細に解析されたことによって、今までCEAに対する非特異交差反応抗原と考えられていたNCA-2やNFA-2がCEAと同一遺伝子から産生されることが解明された。つまり癌細胞内では、CEAのみならずNCAなどCEA関連抗原も同時に産生しているといえる。ここで我々のルーチンにも関わってくるのが各社CEA測定系における測定値の乖離である。CEAに特異的か、CEA関連抗原も含めてCEAとみなすかは各社で異なっている。今回講演していただいたアボットは後者にあたり、大腸癌再燃例でのモニタリングにおける比較検討の結果から、大腸癌の再燃を早期に発見するにはCEA関連抗原を含めた検出が有効であるとしていた。一方CEAに特異的な測定系の有用性もあり、どちらにも利点がある。このことから、まず自施設で使用しているCEA測定系がCEAに特異的か否かを知っておくことが大事といえる。

また普段我々には『CEA』の名称で馴染みがあるが、構造の解明とともに命名法が変更され1999年に『CEACAM5(シーカムファイブ)』となったことも紹介された。ひとつひとつの検査項目への研究の積み重ねを、改めて感じる研修会であった。

(文責：相坂由里子)

テーマ **有機溶剤：キシレンについて知ろう**  
－ 女性則の理解とキシレンに関するetc. －

主催 病理検査・細胞検査研究班合同

実施日時：平成25年4月19日 19時00分～21時00分

会 場：浦和コミュニティーセンター 第13集会室 点数：専門教科－20点

講 演 1：「女性労働基準規則改正とキシレンの特性を考慮した排気装置の設置について」  
－女性労働基準規則の改正の要点、プッシュプル排気装置でのキシレンを想定した排気デモ、施設でのキシレン測定事例について－

講 師：久保田征広（株式会社 トルネックス）

講 演 2：代替キシレンの種類と使用レポート

講 師：関口 久男（埼玉県済生会栗橋病院）

講 演 3：キシレン蒸留再生装置の導入経験とその効果

講 師：渡邊 俊宏（株式会社 アムル 上尾中央臨床検査研究所）

司 会：沼上 秀博（埼玉県立循環器・呼吸器病センター）

協 賛：武藤化学株式会社

参加人数：会員55名 非会員16名

出席した研究班班員：沼上秀博 渡邊俊宏 金泉恵美子 岡村卓哉 細沼佑介 関口久男

高橋俊介 山崎泰樹 大澤久美子 宮内優太 三升畑奈穂 鶴岡慎悟  
船津靖亮 大木麻衣 森田繁

#### 研修内容・感想など

今回、平成24年10月1日より施行された女性労働基準規則（以下、女性則）が改正されたこともあり、規制対象のキシレンについて研修会を開催した。

講演1として、女性則の改正の要点についての解説と、局所換気とプッシュプル型換気装置の特徴と有用性について、実演を含めて久保田氏にご講演いただいた。今回の女性則改正ではキシレン等15種が追加され全26種類が規制対象に加わり、キシレンに関しては作業環境内を50ppm以下に抑えることと説明された。

演題2として「代替キシレンの種類と使用レポート」について関口技師が、代替キシレンは人体への毒性が少ないとされ、原料等の違いによりピネン・リモネン・アルカン系と3つに分けられるとのことで、それぞれの臭気・揮発性・引火点などの比較を表にまとめて解説された。また、実例として済生会栗橋病院での代替キシレンの導入経緯及び使用方法を紹介していただいた。使用に関しては、従来のキシレンとさほど違和感ないが、デメリットとして価格が高いことをあげられた。

講演3として、「キシレン蒸留再生装置の導入経験と効果」を渡邊技師が、蒸留再生装置の基本原理・構造を説明された。再生されたキシレンの品質は問題もなく、導入前後の購入量や廃棄量の変化を提示され、コスト面も含めて効果は良好な成績ということであった。

キシレンは「生殖能または胎児への悪影響のおそれがある」とされているが、労働環境の改善方法としては以上のような排気装置の導入や代替キシレンへの転換等が挙げられる。これらを組み合わせて行うことにより、より高い効果が期待できるのではないと思われる。また、蒸留再生装置においては単にコスト改善に留まらず、“環境にやさしい社会づくり”としても有益であることがわかった。

(文責：森田 繁)

## テーマ 平成24年度 精度管理報告および新人研修

主催 血液検査研究班

実施日時：平成25年 4 月24日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ 905号室 点数：専門教科－20点

演題 1：平成24年度精度管理報告および新人研修

講師：血液研究班員

演題 2：初心者のための自動血球分析装置の落とし穴とその対策

講師：萩原 朋子（シスメックス株式会社 北関東支店）

参加人数：会員42名 学生4名

出席した研究班班員：星孝夫 網野育雄 根岸永和 羽鳥浩司 田中正 橋口恵子 原誠則  
圓田和人

#### 研修内容・感想など

##### 1. 平成24年度の埼玉県精度管理・血液検査部門報告について

血算試料は、例年使用している人工血に加え、初めての試みとして人全血も試料に加えサーベイを実施した。評価結果は、各項目におけるメーカー間差・機種間差を十分考慮し、必要に応じて補正係数を求め補正後評価するなど対処するも、人工血のみならず人全血においてもD評価が出てしまった。評価方法や評価基準、また人全血試料の作製についての問題点を洗い出し、次年度につなげていきたい。

フォトサーベイについては、4問中2問がはっきりとした成熟段階の細胞とは言い切れず、回答を2つとした。参考データより慢性骨髄性白血病が考えられ、顆粒球系の幼若～成熟細胞の見方、核クロマチン（ユークロマチン・ヘテロクロマチン）の観察方法に至るまで解説された。

## 2. 自動血球分析装置について

この講演は、どれも検査室に帰って即！活かせる内容であった。

破碎赤血球出現時の誤差については、血小板は正誤差、赤血球は負誤差に、(これは鉄欠乏性貧血でも同様) 大型血小板出現は造血亢進がある場合に出現しやすく、止血機構は保持される。巨大血小板は、MDSなどで見られ、血小板は負誤差、赤血球は正誤差の可能性、とくに白血球は正誤差となる。

日当直帯に気をつけることとしては、血小板凝集のフラグがない場合でも、分析機の感度により見落としがあるため、低値の場合は、スキヤッタや粒度分布等チェックし、必要に応じて塗抹標本の確認などを行うことが重要とのことであった。

白血球分類が自動化されている今、安易に分析機から出てくる情報を鵜呑みにすることなく、まずは検体の観察、関連項目のチェック、患者情報や、分析器からの情報により目視鏡検の依頼がなくても、実施できる体制がとれることが、異常検体を見逃さないことにつながる・・・と締めくくられた。(文責：橋口恵子)

## テーマ 尿定性検査のどうしてそうなる？ こんな時どうする!?

主催 一般検査研究班

実施日時：平成25年4月25日 19時00分～21時00分

会場：大宮ソニックシティ 602号室 点数：専門教科ー20点

講師：室谷 明子 (埼玉医科大学病院)

山浦 久 (さいたま市立病院)

参加人数：会員92名 賛助会員3名 非会員2名

出席した研究班班員：川音勝江 室谷明子 山本英俊 深田茂則 小関紀之 山浦久

竹山梨枝子 土屋貴絵 槇島碧

### 研修内容・感想など

今回は、新年度初めての研修会という事で、新人の方や新たに尿検査を始められる方など大変多くの方にご参加いただいた。室谷技師からは、尿検査の歴史から始まり、機器の説明、定性検査の手技などを講演いただいた。他にも、外部精度管理やeGFRとCys-Cにおける腎機能の評価など、新人の方以外でも勉強になる内容であった。

山浦技師からは定性の原理と偽陰性・偽陽性、尿定性検査から見る病態の把握について講演していただいた。中でも、ビリルビンの偽陽性反応の確認試験である、ワトソン・ホーキンソン法は行っている施設が少ないため、さいたま市立病院で実際に行っている検査の手技を写真でわかりやすく説明していただき、大変興味深かった。尿定性検査は容易で迅速に病態のスクリーニングが出来る反面、薬剤などにおける偽陰性・偽陽性反応が起こるため、誤った判定を臨床側に報告しないよう、注意して検査を行っていききたい。

(文責：竹山梨枝子)

## テーマ 院内感染対策の取組み 院内感染対策における検査技師の役割

主催 微生物検査研究班

実施日時：平成25年4月25日 19時00分～20時30分

会場：大宮ソニックシティ 604号室 点数：専門教科ー20点

講師：飯草 正実 (獨協医科大学越谷病院 感染制御部)

参加人数：会員82名 賛助会員5名

出席した研究班班員：永野栄子 渡辺典之 荻野毅史 砂押克彦 牧俊一 佐藤香里 酒井利育

小西光政



## 研修内容・感想など

今回は、『院内感染対策の取組みと検査技師の役割』について研修会を行った。

『院内感染対策の取組み』に関して、獨協医科大学越谷病院の組織体制や各職種の役割、ICT活動を中心に衛生教育、疫学調査、感染症治療の支援、サーベイランス、広報に至るさまざまな活動を講演していただいた。今回、講師を依頼した飯草氏は、2006年に認定臨床微生物検査技師およびICMTの資格を取得されている。2008年に感染防止対策室へ専従で配属されてから、ICT活動を中心に数多くの経験を積まれてきた。そして私たち臨床検査技師の役割は、『検査部で得られた情報は迅速・確実に臨床へ周知すること』、『職種毎の情報・意見を共有し、お互いにサポートしながら活動すること』、『微生物検査の特異性を活かすこと』と話された。実際の活動では、①耐性菌検出・アウトブレイク時の報告体制と接触感染予防策の対応、②手指の汚染状況確認や衛生意識向上として培養を用いた教育を実施、③疫学調査はチェックリストを用いた環境ラウンドやPOT法を用いて感染経路を特定、④職員(患者)への啓蒙は、集積データや活動報告、ICT NEWSやホームページを活用していることなど、分かり易く話していただいた。

チーム医療が注目される中、患者を中心とした臨床側のニーズに応えられる検査室になれるよう、日々業務に取り組んでいきたい。

(文責：小西光政)

## 埼臨技ひろば

### 平成25年度 埼臨技有志ゴルフコンペ

大麻生ゴルフ場にて、5月26日朝7時スタート！ 天気にも恵まれ鶯の囀きを背に聞き、午前のプレーは気持ちよく、午後はお日様も顔を出し汗ばむくらいでした。最近クラブを持つ機会も少なく、楽しみ半分不安半分の気持ちで参加させていただきましたが、メンバーにも恵まれて肩の力が脱げ、またハンディーに恵まれて優勝してしまいました。スコアが70台・80台でている中、ラッキーとしか言いようがありません。でも大変嬉しいです。

今回の埼臨技ゴルフは、15名の参加のもと行なわれましたが、仲間と顔合わせできて有意な時間を過ごすことができました。次回の大会は、皆さんも一緒にプレーしましょう。  
(文責：袴田博文)



優勝：袴田 博文 (上尾中央医科グループ協議会)

準優勝：小川 豊 (埼玉社会保険病院)

3位：麻生富美枝 (東松山市立市民病院)



※次回は11月10日(日)開催予定です。



### 埼臨技釣りクラブから会員募集のお知らせ

釣りクラブは船釣りを中心に年間を通じて活動を続けています。より多くの会員の皆様にご入会いただきたく、関心のある方は世話役までご連絡いただければ幸いです。

世話役：埼玉県立がんセンター 検査技術部 岡田 茂治

メール：shigella@cancer-c.pref.saitama.jp

平成25年度  
社団法人埼玉県臨床検査技師会  
第2回 理事会議事録

日 時：平成25年 5月 9日(木) 19時00分より

場 所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家 7-14-7

議 題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項  
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席者：砂川、津田、神山、前原、矢作、岡田、  
奈良、猪浦、長岡、伊藤、島村、松岡、  
小島、高嶋、濱本、藤井、長澤、小関、  
茂木、小山、山口、野瀬、遠藤

Ⅰ. 行動報告(平成25年4月10日～平成25年5月8日)

4月10日(水)第1回理事会：

砂川、津田、神山、前原、矢作、  
岡田、奈良、猪浦、長岡、伊藤、  
島村、松岡、小島、高嶋、濱本、  
藤井、長澤、小関、茂木、小山、  
山口、野瀬、遠藤、細谷

4月24日(水)第42回埼玉県医学検査学会第6回  
実行委員会：

奈良、松岡、濱本、長岡

4月24日(水)学術部部会：

高嶋、小山、茂木、小関

4月26日(金)第1回会計部会：

島村、松岡、小島

4月27日(土)事業部部会：

津田、高嶋、濱本、藤井、長澤

5月2日(木)第1回ホームページ委員会：

矢作、濱本

5月7日(火)第1回総務部会・ホームページ委  
員会合同会議：

津田、岡田、奈良、猪浦、長岡、  
伊藤、矢作、濱本

Ⅱ. 報告事項

1 事務局

- 1) 平成25年永年会員表彰 26名
- 2) 埼臨技事務所の在る自治会より、最近空き  
巣等の被害が発生しているため、防犯管理

に気をつけるよう連絡があった。

2 総務部

- 1) 「埼臨技だより」第408号 5月15日発行
- 2) 5月2日、第1回ホームページ委員会(メ  
ール会議)を開催した。
- 3) 5月7日、第1回総務部会・ホームペー  
ジ委員会合同会議を開催した。

3 事業部

- 1) 4月27日、第1回事業部部会を開催した。
- 2) 第8回深谷市福祉健康まつりへの参加につ  
いて。

4 学術部

- 1) 4月24日、学術部会を開催した。
- 2) 5月11日、学術関連合同会議開催予定

5 精度保証部

6 会計部

- 1) 日臨技より、平成24年度入会金+正会員費  
1名分5,500円、25年度入会金25名分  
12,500円、正会員費141名分705,000円、合  
計723,000円の入金があった。
- 1) 4月26日、会計部会を開催した。

7 精度管理委員会

8 埼玉県精度保証施設認証委員会

9 関甲信支部

- 1) 6月9日、支部会議が群馬県で開催予定

10 第42回埼玉県医学検査学会

- 1) 4月24日、第6回実行委員会を開催した。

Ⅲ. 承認事項

1 事務局

- 1) 会員動向(会費納入済)(平成25年度分)  
会員数 2,256名(含 県会員 8名)  
(新入会員34名・継続会員 2,222名・[平成  
24年度会員数2,256名])  
賛助会員 14社[平成24年度 69社]

平成25年 5月 2日現在

- 2) 第32回福見秀雄賞 受賞式出席について

贈呈式：平成25年 5月17日(金)

会 場：東京會館

出席者：砂川会長、神山副会長、前原常  
務理事、小島理事、山下主任事  
務員

- 3) 埼臨技功労者表彰について

前原 光江 氏

(第41回埼玉県医学検査学会学会長)

## 4)平成25・26年度各種委員会委員について

- 研究班運営委員会  
 (委員長は茂木学術部副部長)  
 生涯教育委員会(学術部案あり)  
 編集委員会(学術部案あり)  
 編集委員会 査読委員  
 ホームページ委員会  
 (ホームページ委員会資料に案あり)  
 埼臨技臨床検査データ標準化委員会  
 (当日資料)  
 精度管理委員会(当日資料)  
 検査室管理運営委員会  
 (事業部会資料に案あり)  
 精度保証施設認証委員会委員について  
 (当日資料)  
 新公益法人移行検討委員会

## 5)政治連盟執行委員会出席について

- 日 時：5月24日(金)16時～18時  
 会 場：日本臨床検査技師会館  
 出席者：津田副会長、前原常務理事

## 2 総務部

## 3 学術部

- 1)研究班運営マニュアルの追加・修正について

## 4 精度保証部

## 5 事業部

## 6 会計部

## IV. 議事の経過の概要およびその結果

定款24条の規定により、会長 砂川進氏が議長となった。

## 事務局

1. 第43回埼玉県医学検査学会学会長候補者の選任について

砂川会長より標記の議案について発言があった。これを受け理事会審議の結果、出席理事全会一致で承認した。

2. 一般社団法人日本臨床衛生検査技師会平成25年度第1回定時総会への出席について

前原常務理事より標記の議案について出席者を募った結果、津田副会長、神山副会長が出席する運びとなり、出席理事全会一致にて承認した。

日 時：5月25日(土)10時～13時

会 場：大森東急イン

3. 一般社団法人群馬県臨床検査技師会創立60周年・新法人移行記念式典出席について

前原常務理事より標記の議案について出席者を募った結果、砂川会長、津田副会長、神山副会長が出席する運びとなった。

日 時：6月8日(土)16時～

会 場：ホテルメトロポリタン高崎

## 総務部

## 事業部

## 学術部・精度保証部

## 会計部

## その他



## 正職員募集 ▶▶

求人先 社会医療法人 ジャパンメディカルアライアンス 東埼玉総合病院  
 採用人員 臨床検査技師  
 業務内容 主に生理機能検査業務  
 ・心電図・超音波検査(経験者歓迎)・採血  
 その他 尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、  
 交通費、社会保険等の詳細については  
 連絡先にて確認をお願いします。  
 連絡先 TEL 0480-40-1311  
 (担当 管理部 総務課 内田)  
 E-MAIL:ch\_uchida@jin-ai.or.jp

## 臨時職員(パート)募集 ▶▶

求人先 帯津三敬病院  
 採用人員 臨床検査技師  
 業務内容 生理機能検査(採血含む)  
 その他 尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、  
 交通費、社会保険等の詳細については連絡  
 先にて確認をお願いします。  
 連絡先 TEL 049-235-1981(内線123)  
 (担当 検査科 鈴木 綾子)

### 臨時職員(パート)募集 ▶▶

求人先 医療法人社団 愛友会 上尾中央総合病院  
 採用人員 臨床検査技師  
 業務内容 健診車による巡回健診において、健診先での生理検査業務  
 その他 尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、交通費、社会保険等の詳細については連絡先にて確認をお願いします。  
 連絡先 TEL 048-773-1325(人事課直通)  
 (担当 人事課 担当採用)

### 臨時職員(パート)・その他(育休代替職員)募集 ▶▶

求人先 埼玉県衛生研究所  
 採用人員 臨床検査技師  
 業務内容 ウイルス関連検査業務  
 その他 尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、交通費、社会保険等の詳細については連絡先にて確認をお願いします。  
 連絡先 TEL 048-853-5034  
 (担当 ウイルス担当 篠原 美千代)

### その他(常勤嘱託職員)募集 ▶▶

求人先 さいたま赤十字病院  
 採用人員 臨床検査技師  
 業務内容 採血業務及び検体検査業務  
 (産休・育休期間代替要員  
 採用期間：平成25年9月～平成26年11月)  
 その他 尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、交通費、社会保険等の詳細については連絡先にて確認をお願いします。  
 連絡先 TEL 048-852-1196(人事課直通)  
 (担当 人事課 松本 忠通)

### 正職員募集 ▶▶

求人先 医療法人 康麗会 越谷誠和病院  
 採用人員 臨床検査技師  
 業務内容 検査業務全般  
 検体検査、心電図、超音波 等  
 その他 尚、給与、雇用形態、採用期間、勤務時間、交通費、社会保険等の詳細については連絡先にて確認をお願いします。  
 連絡先 TEL 048-966-2711  
 (担当 総務課 高野)

## あ と が き

占い

手相、星占い、血液型占い、カード占い・・・あなたはどの占いを信じますか？  
 私はどの占いでもいいことは信じますが悪いことは信じません。なかでもカード占いは、いいことを言われても半信半疑です。なぜならもう一度やったら結果が変わるからです。

細胞診検査をしていると、昨日の夕方見た時の印象と、今朝見た時の細胞の印象が違うことがあります。疲労のためでしょうか？ 私の判定基準がカード占い並みだからでしょうか・・・

(猪浦 記)

